

011708830 **Image available**

WPI Acc No: 1998-125740/ 199812

Storage container for holding paint can during painting work - has flexible plastic accommodation bags which are positioned in paint container during painting operation

Patent Assignee: NAGASHIMA H (NAGA-I); NAGASHIMA KK (NAGA-N); NAKATANI S (NAKA-I)

Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
JP 10007170	A	19980113	JP 96181228	A	19960621	199812 B

Priority Applications (No Type Date): JP 96181228 A 19960621

Patent Details:

Patent No	Kind	Lan	Pg	Main IPC	Filing Notes
JP 10007170	A		9	B65D-077/04	

Abstract (Basic): JP 10007170 A

The storage container (1) consists of an outer container body (2) inside which a paint container (3) is positioned. The outer container body also accommodates flexible plastic accommodation bags (4) for storing a required paint.

During usage, the plastic bag is positioned inside the paint container.

ADVANTAGE - Avoids unnecessary cleaning of paint container. Offers economical and convenient painting.

Dwg.1/13

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-7170

(43)公開日 平成10年(1998)1月13日

(51)Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 5 D	77/04		B 6 5 D	77/04
	5/60			5/60
	25/16			25/16
	81/36			81/36

審査請求 未請求 請求項の数7 F D (全 9 頁)

(21)出願番号 特願平8-181228
(22)出願日 平成8年(1996)6月21日

(71)出願人 000214663
長島 広久
埼玉県川越市大字下赤坂大野原718番地
八洲工業株式会社 川越工場内
(71)出願人 000150682
株式会社長島
東京都練馬区桜台1丁目18番6号
(71)出願人 000212599
中谷 進
山梨県中巨摩郡檜形町吉田898番地7-6号

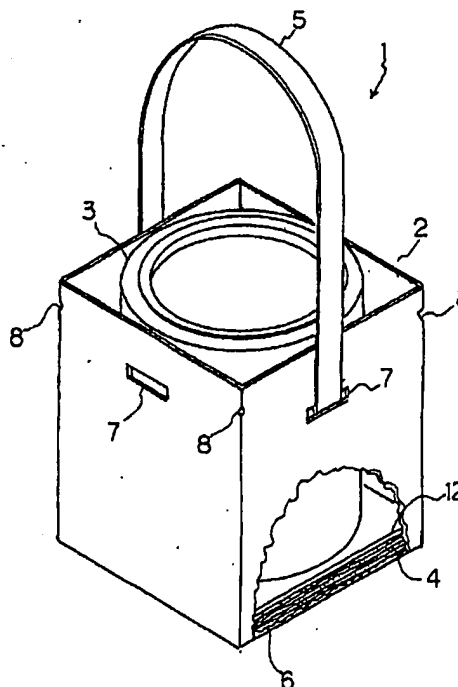
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 作業用容器付塗料等の収納容器

(57)【要約】

【課題】 洗浄することなく繰り返し使用できる作業用容器と塗料等密封容器とからなる作業用容器付塗料等の収納容器の提供にある。

【解決手段】 塗料等を収納密封してなる塗料等密封容器と、この塗料等密封容器を収納してなる作業用外容器と、前記塗料等密封容器を取り出して空にした前記作業用外容器に収納してその中に塗料等を収納するための柔軟性合成樹脂部材製の収納袋とからなる作業用容器と、からなる。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 塗料等を収納密封してなる塗料等密封容器と、

この塗料等密封容器を収納してなる作業用外容器、前記塗料等密封容器を取り出して空にした前記作業用外容器に収納してその中に塗料等を収納するための柔軟性合成樹脂部材製の収納袋とからなる作業用容器と、からなることを特徴とする作業用容器付塗料等の収納容器。

【請求項 2】 塗料等を収納密封してなる塗料等密封容器と、

この塗料等密封容器を収納してなる作業用外容器、前記塗料等密封容器を取り出して空にした前記作業用外容器に収納してその中に塗料等を収納するための、該作業用外容器の開口部と略同じくらいの大きさの開口部を形成する柔軟性合成樹脂部材製の収納袋とからなる作業用容器と、前記収納袋の開口部内側に曲げるなどして挿入係止し、該収納袋の開口部を前記作業用外容器の開口部形状に広げ形成する袋開口部形成手段と、前記収納袋を取り付けた袋開口部形成手段を前記作業用外容器の開口部に嵌合装着してなることを特徴とする作業用容器付塗料等の収納容器。

【請求項 3】 作業用外容器が側壁及び底部の連結を解かずに折り畳みまたは再組立を可能とする容器であることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の作業用容器付塗料等の収納容器。

【請求項 4】 塗料等密封容器が折り畳み状態あるいは平状態から容器体になれる容器であることを特徴とする請求項 1、2 又は 3 記載の作業用容器付塗料等の収納容器。

【請求項 5】 塗料等密封容器が柔軟性合成樹脂部材製の袋状部材からなる容器であることを特徴とする請求項 1、2 又は 3 記載の作業用容器付塗料等の収納容器。

【請求項 6】 作業用外容器が紙製部材であることを特徴とする請求項 1、2、3、4 又は 5 記載の作業用容器付塗料等の収納容器。

【請求項 7】 収納袋を複数枚備えてなることを特徴とする請求項 1、2、3、4、5 又は 6 記載の作業用容器付塗料等の収納容器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は作業用容器付塗料等の収納容器に関する。

【0002】

【従来の技術】従来においては、塗料を密封した塗料等密封容器と塗装作業に使用する作業用容器は別個の容器であった。また、開口部を有する塗料等密封容器と作業用容器を兼ねるものがあった。

【発明が解決しようとする課題】上述した従来の技術においては、塗装をするためには塗料等密封容器と該塗料

等密封容器と別個にある高価な作業用容器の両方を購入しなければならず経済的ではなかった。また、高価な作業用容器は使用後は洗浄して再使用するか、塗料を付着させたまま使い捨てにするかであったが、洗浄時間が必要、塗料の付着した作業用容器の廃棄が困難など、大きなコストとリスクがともなうものであった。また、開口部を有する塗料等密封容器と作業用容器を兼ねるものは、開口縁を使つての刷毛の極き操作により、蓋の嵌合する溝などに塗料が溜り固まり、蓋が密封できなくなるという問題を持っていた。本発明は、以上のような従来技術の持つ問題点を鑑みてなされたものであって、その目的は、洗浄することなく繰り返し使用できる作業用容器と塗料等密封容器とからなる作業用容器付塗料等の収納容器の提供にある。

【0003】

【課題を解決するための手段】前述した目的を達成するために、本発明のうちで請求項 1 記載の発明は、塗料等を収納密封してなる塗料等密封容器、この塗料等密封容器を収納してなる作業用外容器と、前記塗料等密封容器を取り出して空にした前記作業用外容器に収納してその中に塗料等を収納するための柔軟性合成樹脂部材製の収納袋とからなる作業用容器と、からなることを特徴とするものである。また請求項 2 記載の発明は、塗料等を収納密封してなる塗料等密封容器と、この塗料等密封容器を収納してなる作業用外容器と、前記塗料等密封容器を取り出して空にした前記作業用外容器に収納してその中に塗料等を収納するための、該作業用外容器の開口部と略同じくらいの大きさの開口部を形成する柔軟性合成樹脂部材製の収納袋とからなる作業用容器と、前記収納袋の開口部内側に曲げるなどして挿入係止して、該収納袋の開口部を前記作業用外容器の開口部形状に広げ形成する袋開口部形成手段とからなり、前記収納袋を取り付けた袋開口部形成手段を前記作業用外容器の開口部に嵌合装着してなることを特徴とするものである。また請求項 3 記載の発明は、請求項 1 又は 2 に記載の発明の作業用外容器が、側壁及び底部の連結を解かずに折り畳みまたは再組立を可能とするものであることを特徴とするものである。また請求項 4 記載の発明は、請求項 1、2 又は 3 に記載の塗料等密封容器が、折り畳み状態あるいは平状態から容器体になれるものであることを特徴とするものである。また請求項 5 記載の発明は、請求項 1、2 又は 3 に記載の塗料等密封容器が、柔軟性合成樹脂部材製の袋状部材からなるものであることを特徴とするものである。また請求項 6 記載の発明は、請求項 1、2、3、4 又は 5 に記載の作業用外容器が、段ボール等の紙製部材であることを特徴とするものである。また請求項 7 記載の発明は、請求項 1、2、3、4、5 又は 6 に記載の収納袋を、複数枚備えてなることを特徴とするものである。

【発明の実施の形態】本発明の実施の形態を図面を参照